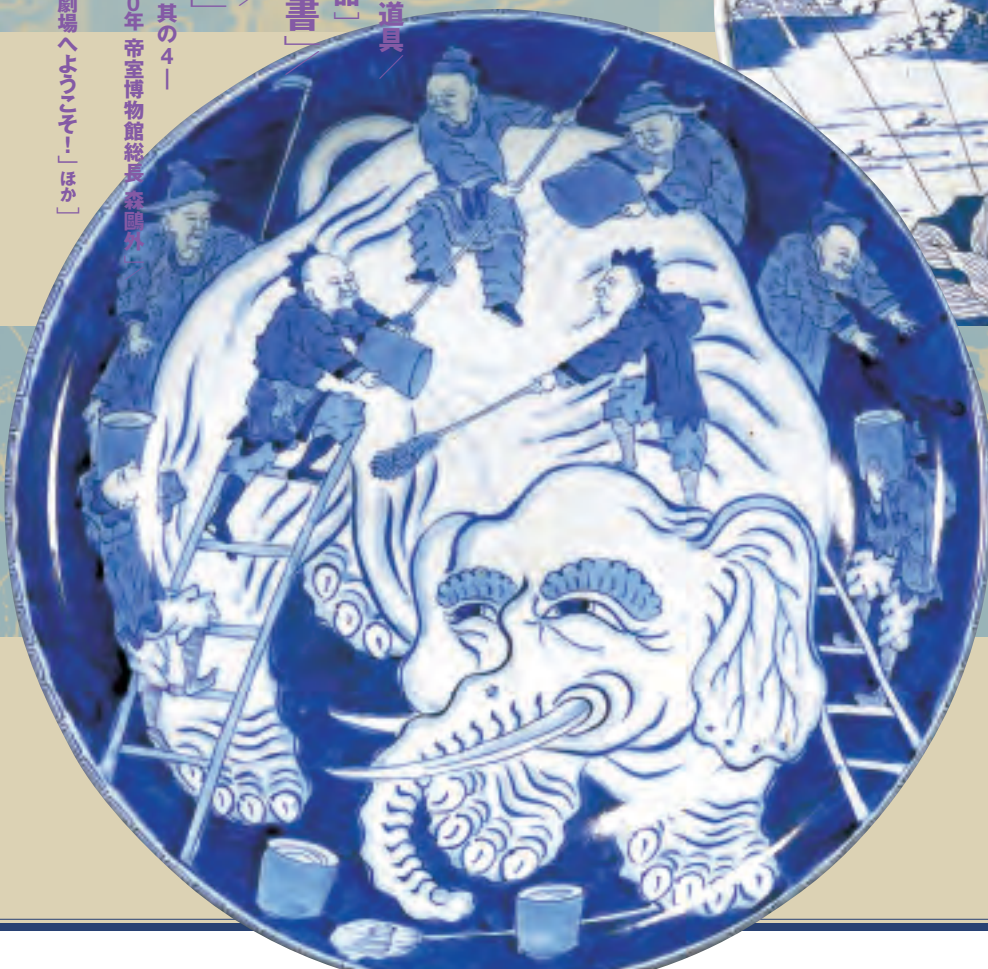


東京国立博物館ニュース

展示と催し物案内 [第714号]

2012
8-9



2・3 秋の特別公開「秋の特別公開 贈られた名品／広田不孤斎の茶道具」

徳川本の世界―多様性とその魅力／大正元年―帝室技芸員からの寄贈品

4・5 2012夏・秋特別展のイチオシ！ 特別展「青山杉雨の眼と書」

特別展「中国山水画の20世紀―中国美術館名品選―」

特別展「中国王朝の至宝」／特別展「出雲―聖地の至宝―」

6 2013年1月2日 東洋館リニューアルオープン！ 7 教えて！なぜなにトーハク―其の4―

8・11 総合文化展 見どころ案内 2012年8月・9月 日本美術の流れ／特集陳列「生誕150年 帝室博物館総長 森岡外

特集陳列「運慶周辺と康円の仏像」／特集陳列「ジョサイア・コンドルの博物館」ほか

12・13 みどりのライオン 教育普及事業「講演会／子どもツアー＆ファミリーツアー」トーハク劇場へようこそ！ほか

15 TOPICS 16 東京国立博物館2012年8月・9月の展示・催し物

14 INFORMATION

東京国立博物館 140周年イベント

秋の特別公開

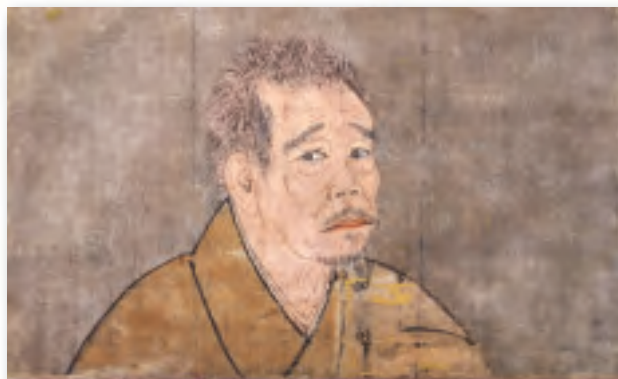
9月15日(土) — 9月30日(日)

トーハクの140周年のテーマは「ブンカのちからにありがとう!」です。
秋はお客様への「ありがとう」とともに、
作品を寄贈してくださった方々にも感謝の気持ちを込めて寄贈品の名品を公開します。
館の歴史に関するエピソードを加えたガイドツアーなどで、
いつもよりさらに一歩、トーハクを身近に感じてください。

東京国立博物館 140周年特集陳列

「秋の特別公開 贈られた名品」

9月15日(土) — 9月30日(日) 本館特別1・2室



①

140年の歴史を経た東京国立博物館のコレクションには、各時代の心ある方々からの寄贈品が多数含まれています。現在、当館でご覧いただける作品のかなりの部分が寄贈品であると言っても過言ではありません。
今回、140周年記念展示の一環として、これら寄贈品の中から国宝・重要文化財の指定を受けた優品を一堂に選りすぐって公開し、多くの方々の当館へのご厚意に感謝申し上げるとともに、博物館の活動の中で寄贈品が大きな役割を果たしている事実を、あらためてご紹介させていただきます。
秋の一時、長く国民の皆さんの支えによって充実してきた当館コレクションの粋をお楽しみいただければ幸いです。(田良島哲)

① ◎一休和尚像

没倫紹等賛 室町時代・15世紀
岡崎正也氏寄贈
こちらをじっと見つめる視線が印象的。
日本の肖像画史上の傑作

② ◎青花魚藻文壺

景德鎮窯 元時代・14世紀
田中芳男氏寄贈
珍しく日本に伝来した中国元時代の青花磁器です。
当館の創設者のひとり田中芳男氏からの寄贈品



②

寄贈コレクションをテーマにした 140周年特集陳列

「広田不孤斎の茶道具」

9月4日(火) — 11月25日(日) 本館4室

広

田不孤斎(一八九七〜一九七三、松繁)は、十二歳の若さで古美術商の世界に入られました。鑑賞陶器と呼ばれる分野のバイオニアとして活躍され、昭和二十二年(一九四七)、四十二年、四十七年の三回にわたり、中国陶磁を中心とするコレクションのほぼすべて、四百九十六点を当館に寄贈されました。氏は晩年茶の湯に傾倒したことからコレクションには茶道具の優品も多く、当館の展示に欠かせない存在となっています。(今井敦)



彫三島茶碗 銘 木村
朝鮮時代・16〜17世紀
広田松繁氏寄贈
花文が外側にもあることから、「外花手」と呼ばれ珍重されます

列品解説「広田不孤斎の茶道具について」

9月21日(金)16:00〜16:30 本館4室 講師:今井敦(博物館教育課長)

「徳川本の世界 — 多様性とその魅力」

9月11日(火) — 11月4日(日) 本館16室

当

館には一万八千件ほどの和書が収蔵されていますが、そのうち一万二千件あまりが昭和十八年に一橋徳川家第十二代当主であった徳川宗敬氏によって寄贈されたもので、これを徳川本と呼んでいます。徳川本はその大部分が江戸から明治時代に刊行・書写されたもので、美術・武芸・学問・風俗・地理など、様々な分野の和書が含まれます。

本特集陳列では徳川本の中から優品を素材に、多様さとそこに見られる様々な表現を紹介します。(三輪紫都香)



柑橘譜
服部雪斎編
明治時代・19世紀
徳川宗敬氏寄贈
様々な種類の柑橘類を写實的に描いて紹介したみかんの図鑑です

関連事業

9月15日(土)～9月30日(日)

◆きもので博物館

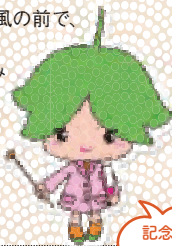
きもので来館のお客様に、総合文化展観覧料金100円割引
※各種割引の併用不可

◆松林図屏風(複製)・洛中洛外図屏風(舟木本)(複製)と記念撮影



10:00～16:00 庭園広学館 *雨天中止

高精細画像による複製の屏風の前で、思い出の一枚を！
先着申込制。受付は当日のみ
(1日36組)、無料(総合文化展観覧料金のみ)
協力:キヤノン株式会社



記念撮影、
私もしたいな。
どんなポーズで
とうかしら？

◆臨時庭園開放

10:00～16:00 *雨天中止

◆ボランティアによるガイドツアー
140周年記念バージョン

本館ハイライトツアーや法隆寺宝物館ガイド、たてもの散歩ツアーなど、9月中旬に実施されるガイドツアーの一部で、博物館の歴史やゆかりの人物に関連する作品紹介などを盛り込んでご案内します。
各ガイドツアーの日程詳細は本誌16ページの展示・催し物カレンダーをご覧ください。

秋の夜長は博物館で



スペシャルありがとうデー

9月21日(金)

★特別夜間開館 22:00まで★

◆トーハク 140th ANNIVERSARY
"J-WAVE MUSIC CELEBRATION"

トーハクとJ-WAVE(81.3FM)のコラボレーションイベントを開催

太鼓芸能集団「鼓童」公演
ほかスペシャルライブ

<抽選で100組200名様をご招待!>
ライブおよび応募方法の詳細は、J-WAVEのホームページ <http://www.j-wave.co.jp/> でお知らせします

◆夕涼みビアガーデン

18:00頃～22:00
(ラストオーダー 21:20)
東洋館エントランス前
協力:株式会社ホテルオークラ
エンタープライズ
※雨天中止

◆台東区民 無料招待

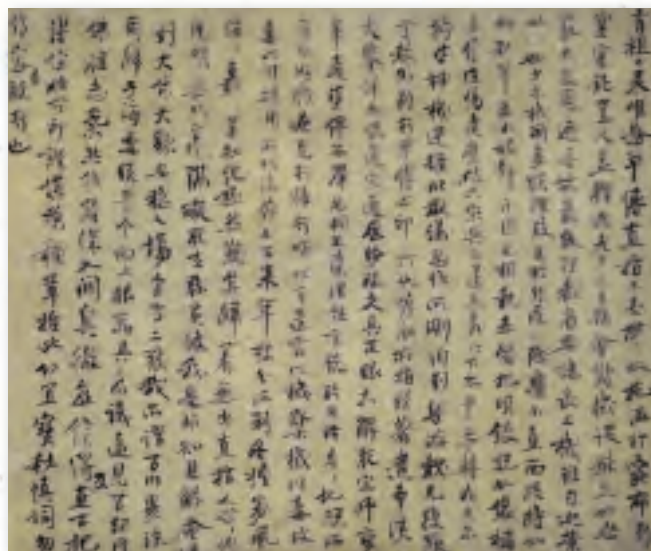
台東区にお住まいのお客様は、総合文化展観覧料金が無料!
※正門にて、台東区内のご住所を確認できるもの(身分証明書等)をご提示ください。(9月21日のみ)



楽しそうだほー!
ばくも一杯
ひっかけるほい



3



4

3 ◎一遍上人絵伝(遊行上人伝 絵巻) 乙巻

鎌倉時代・14世紀 田中親美氏寄贈
時宗の祖・一遍とその弟子・他阿の生涯を描いています。
平家納経等の復元複製で知られる田中親美氏からの寄贈品

4 ◎法語(流れ圓悟)

圓悟克勤筆 北宋時代・宣和6年(1124) 松平直亮氏寄贈
薩摩の坊津海岸に漂着したため、流れ圓悟と呼ばれています。
松平直亮氏は、松江松平家11代当主

列品解説「贈られた名品」

9月21日(金)11:00～11:30、18:30～19:00 本館特別1室 講師:田良島哲(調査研究課長)



(伊藤嘉章)

今 から百年前の大正元年(一九一二年)十二月、当時の帝室技芸員二十二名と、その前年に亡くなったいた二名の遺族から三十一件の作品が東京帝室博物館(現在の東博)に寄贈されました。戦前の美術・工芸作家の顕彰制度にあたる帝室技芸員は明治二十三年(一八九〇)から昭和十九年までに七十九名が任命されており、東博とも深い関わりがありました。大正二年、この寄贈品をお披露目する展覧会が開催されており、今回はそれ以来九十九年ぶりの一挙公開です。

白磁雲芝浮文大瓶
三代清風与平作 大正元年(1912)
三代清風与平氏寄贈
陶磁の分野で最初に帝室技芸員となった清風与平は、白磁と青磁の2点を寄贈しています

列品解説「ただ一人の写真の帝室技芸員 小川一真」

9月21日(金)14:00～14:30 本館20室 講師:冨坂賢(保存修復室長)

「大正元年——帝室技芸員からの寄贈品」
9月19日(水)～12月9日(日) 本館18・19室

特別展 日中国交正常化四十周年
東京国立博物館百四十周年

生誕百年記念

青山杉雨の

「あやまさんうのめとしよ」

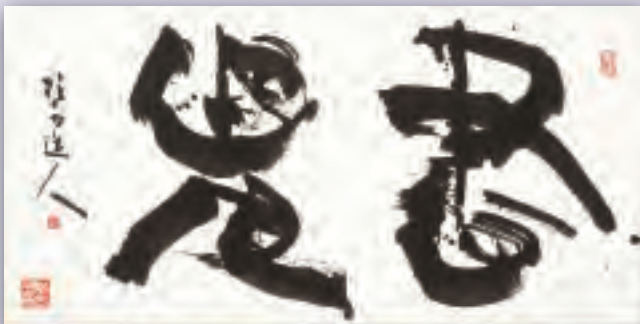
眼と書

7月18日(水) —
9月9日(日)
平成館

昭和から平成にかけて書壇の領袖として大きな足跡を残し、文化勲章を受章した青山杉雨は、平成二十四年が生誕百年にあたります。この展覧会は、青山杉雨の主要な作品を中心に据え、在世中に収集した中国の書画や文房諸具を一堂に公開し、杉雨の偉業を回顧するものです。

平成四年の「書鬼」は、最晩年の作例の一つ。すでに食が細くなり、ほとんど体が動かない状態で、はじめは門下生が体を支えて揮毫しました。しかし夜になって、どうしても書き直したい思いが募り、ご子息を呼び出し、完全に体を抱き上げてもらいながら完成させたものです。書作への執念があたりを払うかのような作品が最後の大作となり、翌年、青山杉雨は八十一歳の生涯を閉じました。(富田淳)

平成四年の「書鬼」は、最晩年の作例の一つ。すでに食が細くなり、ほとんど体が動かない状態で、はじめは門下生が体を支えて揮毫しました。しかし夜になって、どうしても書き直したい思いが募り、ご子息を呼び出し、完全に体を抱き上げてもらいながら完成させたものです。書作への執念があたりを払うかのような作品が最後の大作となり、翌年、青山杉雨は八十一歳の生涯を閉じました。(富田淳)



書鬼
青山杉雨筆 平成4年(1992)
千葉・成田山書道美術館蔵
周囲の人々にとって、最も思い出深い作品の一つ

執念が鬼と化した最後の大作
「書鬼」
青山杉雨筆

特別展
「青山杉雨の眼と書」
2012年7月18日(水)～
9月9日(日)
平成館

主催:東京国立博物館、読売新聞社
企画協力:謙慎書道会
観覧料金:一般1,400円(1,100円)、大学生1,100円(800円)、高校生800円(500円)
*()内は20名以上の団体料金。

2012夏・秋

特別展のイチオシ!

競い合う 中国歴代王朝の美

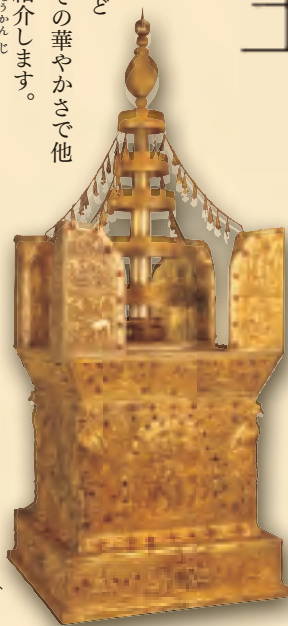
予告 東京国立博物館
百四十周年

中国王朝の至宝

10月10日(水) —
12月24日(月・休)
平成館

中国文化の特質を、同時代の二つの王朝の対比でたどる本展のなかで、その華やかさで他を圧倒する一点を紹介いたします。

南京市の古刹・長干寺の地下から近年出土した新発見の仏塔です。古代インドのアショカ王(阿育王)が造立したという八万四千の仏塔の故事にちなんで阿育王塔と呼ばれる種類のものですが、中国の類例はどれも高さが三十センチ内外にとどまり、この作品のように高さが優に一メートルを超える巨大な作例は一つもありません。他を圧倒する大きさ、細部まで克明に表現された図像、貴重な副葬品の数々など、どれをとってもこの種の仏塔としては破格の規模と優れた出来映えを誇ります。そのため、中国の関係者は、これを「塔王」(仏塔の王様)と称し、驚異と賛嘆の念をもって接しています。今回、中国の特別な計らいにより、地元の南京市以外では初めて公開の運びとなります。(松本伸之)



〈一級文物〉阿育王塔
銀製・鍍金(内部は木組)
北宋時代・大中祥符4年(1011)
江蘇省南京市長干寺地宮出土
南京市博物館蔵
表面に452個もの宝玉石を散りばめ、華やかに飾り立てています



新発見・日本初公開
輝ける塔の王様
あいくおうとう
阿育王塔

特別展
「中国 王朝の至宝」
2012年10月10日(水)～
12月24日(月・休) 平成館

主催:東京国立博物館、中国文物交流中心、NHK、NHKプロモーション、毎日新聞社、朝日新聞社
後援:外務省、中国国家文物局、中国大使館
協賛:信越化学工業、大日本印刷、三井住友海上
協力:全日本空輸、東京中国文化センター

観覧料金:一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生700円(500円/400円)

*()内は前売り/20名以上の団体料金。
*10月20日(土)は21:00まで開館。
*本展の観覧券で観覧日当日1回に限り、特別展「出雲 一聖地の至宝」もご覧になれます

展覧会ホームページ
<http://www.china-och.jp/>

巡回予定

■神戸市立博物館
2013年2月2日(土)～4月7日(日)
■名古屋市博物館
2013年4月24日(水)～6月23日(日)
■九州国立博物館
2013年7月9日(火)～9月16日(月・祝)

関連事業

記念講演会

① 10月12日(金)13:30～15:00
「中国喫茶文化における北と南」 高橋忠彦(東京学芸大学 教育学部 教授)
② 10月20日(土)13:30～15:00

「中国文明の謎」 松本伸之(東京国立博物館 学芸企画部長)

会場:平成館大講堂

定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合抽選)

聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途入館料が必要)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演会番号(①または②を)、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申し込みください。

*1枚のはがきで、1つの講演会につき、最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏

名を必ず明記してください。

申込先:〒106-0032 東京都港区六本木4-8-7 六本木三河台ビル7F

デジシス「中国 王朝の至宝」(希望する講演会番号①または②)係

申込締切:①9月13日(木)、②9月20日(木) 必着

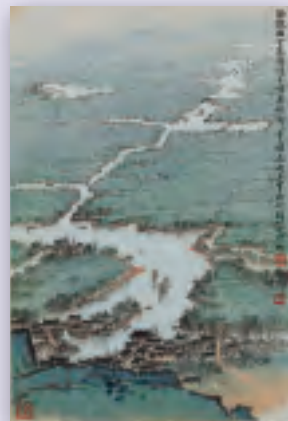
特別展 日中国交正常化四十周年
東京国立博物館百四十周年

中国山水画の20世紀

中国美術館名品選

7月31日(火) - 8月26日(日)
本館特別5室

新しい中国の
新しい山水
「常熟田」
せんしょうがん
銭松岳筆



一九四九年、新中国が成立すると、画家たちはそれまでの伝統的な文人山水から脱し、新しい画題と理念を求め始めます。この作品を描いたのは金陵(南京)で活躍した画家・銭松岳です。ここでは豊かに実る江南の水郷が描きだされています。人々の暮らしとそれによって作り変えられた山水の美しさを銭松岳は発見しました。伝統山水画を基礎にしながらも、新しい社会にあわせた作品を作り出すとした銭松岳の代表作です。

本作をはじめ、近代中国絵画を代表する山水画の名品五十件が、この分野で最高峰のコレクションを誇る中国美術館(北京市)から一堂に来日しています。二十世紀山水画の個性あふれる魅力をお楽しみください。

(塚本麿充)

常熟田 銭松岳 1963年 中国美術館蔵
従来の文人画の枠にとどまらない斬新な画風に、新中国の建設にわく近代中国の情熱を感じます

特別展「中国山水画の20世紀—中国美術館名品選—」

2012年7月31日(火)～

8月26日(日) 本館特別5室

主催:文化庁、中華人民共和国文化部、
東京国立博物館、中国美術館
特別協力:毎日新聞社

観覧料金: 総合文化展の観覧料金でご覧いただけます。
一般600円(500円)、大学生400円(300円)
*()内は20名以上の団体料金。
*70歳以上、高校生以下および満18歳未満の方は無料。

関連事業

記念講演会

「対談 中国画の現代変革」
8月5日(日) 13:30～15:00
范迪安(中国美術館館長)
※同時通訳(予定)
山下裕二氏(明治大学学教授)
会場:平成館大講堂
定員:300名(当日先着順)
聴講無料(ただし当日の入館料は必要)

ギャラリートーク

中国近現代絵画の魅力と、画家たちの3つの「挑戦」という視点から、リレー形式で3週にわたってご紹介します。

8月3日(金)「社会・生活への「挑戦」」
塚本麿充(東洋室研究員)
8月10日(金)「西洋画法への「挑戦」」
土屋貴裕(絵画・彫刻室研究員)
8月17日(金)「伝統への「挑戦」」
富田淳(列品管理課長)
時間:いずれも18:30～19:00
会場:本館20室
聴講無料(ただし当日の入館料は必要)

2012年夏・秋は平成館と本館で特別展を開催

見どころも、ボリュームもたっぷりのトーハクです。

4つの特別展から研究員イチオシの1点をご紹介します。いずれもお見逃しなく!

特別展「出雲—聖地の至宝—」

2012年10月10日(水)～
11月25日(日)
本館特別5・4室

主催:東京国立博物館、島根県、
島根県立古代出雲歴史博物館、
NHK、NHKプロモーション、
読売新聞社

特別協力:出雲大社、島根県神社庁

観覧料金:一般800円(700円)、
大学生600円(500円)、高校生
400円(300円)

*()内は前売り、20名以上の団体
料金。

*前売り券の販売は、東京国立博物館
正門チケット売り場(開館日のみ)の
み(8月1日～10月8日)

*10月20日(土)は21:00まで開館。
*特別展「中国 王朝の至宝」の観覧
券で観覧日当日1回に限り本展覧会を
ご覧いただけます。

展覧会ホームページ
<http://izumo2012.jp>

聖地出雲の至宝を、ご覧いただく本展からは、出雲大社に伝わる美しい手箱を紹介いたします。

手箱は、化粧道具など身の回りの細々としたものを収める箱です。身近な空間をかざった調度の代表格でもあり、手箱の名品の多くは、神社に奉納されて現在まで伝えられました。出雲大社に伝わったこの手箱もその一つで、萩の花が咲き誇り、鹿や小鳥が憩う秋の野の様子を賑やかに描いていることで有名です。

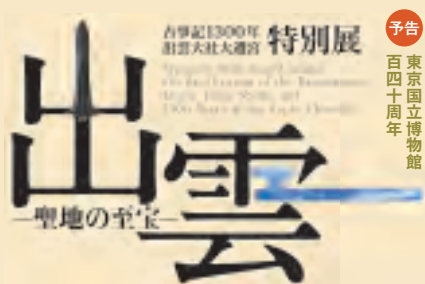
秋といえば、古典文学にみるように、憂愁を誘うもの悲しい、寂しい季節と考えがちですが、古来秋は、喜びに満ちた実りの季節でもありました。この手箱には、まさにその豊穡の秋のイメージが投影されているとみることでできるでしょう。

(竹内奈美子)

●秋野鹿蒔絵手箱

鎌倉時代・13世紀 島根・出雲大社蔵
(10月10日～11月4日展示)

画面いっぱいこもりと生い茂る萩が印象的



予告
百四十周年
東京国立博物館

10月10日(水) - 11月25日(日)
本館特別5・4室



出雲大社の国宝
豊穡のイメージ

あきのしかまきえてばこ
●秋野鹿蒔絵手箱

関連事業

記念シンポジウム

① 10月14日(日)13:30～16:30(予定)
「神々の国 出雲—日本神話の実像に迫る—」

基調講演:梅原猛(哲学者)
パネリスト:三浦佑之(立正大学文学部教授)、
瀧音能之(駒澤大学文学部教授)、森田喜久男
(島根県立古代出雲歴史博物館専門学芸員)、
浅野温子(女優)/コーディネーター:渡邊あゆみ
(NHKアナウンサー)

会場:よみうりホール(東京都千代田区有楽町
1-11-1 読売会館7階)/定員:1,000名/聴講料:

無料 *申込は8月～、詳しくは、電話03-6407-
1455「出雲シンポジウム」東京事務局へお問合せく
ださい。

記念講演会

10月27日(土)13:30～15:00
「出雲の弥生青銅器—大量埋納の謎—」
足立克己(島根県立古代出雲歴史博物館 学芸部長)
会場:平成館大講堂/定員:380名(事前申
込制、応募者多数の場合抽選)/聴講無料(た
だし、本展覧会(または特別展「中国 王朝の至
宝」)の観覧券が必要。半券でも可、その場合は
別途、入館料が必要)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便
番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号、「返
信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の
上、下記までお申し込みください。

*1枚のはがきで、1つの講演会につき、最大2
名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必
ず明記してください。

申込先:〒103-0014 中央区日本橋蛸殻町
1-28-9 ウィンダム内「出雲講演会」係
申込締切:10月4日(木)必着

AR巨大神殿体感アプリ 無料で配信

スマートフォン・タブレット端末(一部対応で
ない機種があります)で、東博構内にそびえ

立つ約48mの巨大神殿を体感できるアプリを配信。
その場の風景と神殿を合わせて撮影
することもできます。この写真撮影機能を利用した
ARフォトコンテストも実施。応募期
間や各賞等の詳細については「AR神話博」
のホームページ [http://www.shimane-
iit.jp/ict/ar/](http://www.shimane-
iit.jp/ict/ar/) をご覧ください
*東京国立博物館内でのAR実施期間:9月15日
(土)～11月25日(日)



2013年1月2日

東洋館

リニューアル
オープン!

リニューアルオープン

では展示環境も整い、開館に向けて着々と準備が進んでいます。どこのように新しくなるのか、展示では何が見られるのかなど、気になるポイントを平常展調整室長・白井克也に聞きます。



▲ナーガ上の仏坐像
アンコール時代・12世紀 カンボジア、
アンコール・トム東南部のテラス No.6
フランス極東学院交換品

【クメールの彫刻】

【インド細密画】



新コーナーで待っているのは、インドやカンボジアの作品だほ

▲木の下で思索する
托鉢の聖者
17世紀中頃
インド、ムガル派

① 新・東洋館のコンセプトについて教えてください

「東洋美術をめぐる旅」がコンセプトです。地域も時代も幅広い東洋館の展示を、アジアの人になった気分を訪ねてください。

展示室を一つずつご覧いただいてもけっこうですし、国別やジャンル別などのテーマに沿ったまわり方もあると思います。「オアシス」と名付けられた教育普及コーナーや、展示室で配布するフロアマップでは、具体的な旅のテーマも提案してく予定です。

寄り道も近道も、旅の魅力です。来館された方、それぞれの旅のコースを見つけていただくこともできるでしょう。

アジアの旅人
だほ



② 見どころとなるコーナーや、おすすめ作品はありますか？

今回のリニューアルで地下に作られた「クメールの彫刻」、「インドの細密画」、「アジアの民族文化」のコーナーでは、これまで展示の機会が少なかった作品を常時公開できるようになりました。また、「中国文人の書斎」、「朝鮮時代の美術」では、分野や材質の垣根を越えて、美術を生み出した文化の背景にまで迫ろうとしています。

エジプトのミイラや中国の書画・青銅器など、東洋館でおなじみの作品も、低反射ガラスやLED照明を用いた展示ケースによって、以前より見やすくなっています。

③ 耐震補強工事では、どのようなことが行われたのでしょうか？

耐震強度を向上させて安全な東洋館にすることが、工事のそもそものきっかけでした。それに加えて、展示ケースの免震装置なども全面的に新しくしました。工事の完了間近のころ起こった東日本大震災でも、震度5強の揺れに耐えました。展示ケースのガラスの内部には飛散防止フィルムが挟み込まれているので、万一ガラスが破損しても、破片でお客様を傷つける心配はありません。また、中央の吹き抜けには、すべての階に停まるエレベータを設置したので、車椅子をご利用のお客様にも、より自由に観覧していただけるようになりまし、近道しやすくなったので、お目当ての展示室にもすぐ行けます。

トーハクくんにつられてコスプレしちゃった...

なかなか似合っているほ!



▶中央吹き抜けのエレベータ



III プレオープンツアー III 「東洋館をめぐる旅」

開館前の東洋館をいち早く体験していただけるツアーです。見どころを研究員が解説しながら館内をめぐるります。

日時:

9月15日(土) ①11:00~12:30 ②14:00~15:30

9月19日(水) ③11:00~12:30 ④14:00~15:30

全4回とも内容は同じです。

会場: 東洋館

定員: 各回15名(事前申込制、応募多数の場合抽選)

聴講料: 無料(ただし、入館料は必要)

申込締切: 8月20日(月) 必着

申込方法: 往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望するツアー番号①~④のいずれかを、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申し込みください。

*1枚の往復はがきで最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

宛先: 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育講座室 プレオープンツアー(希望するツアー番号①~④のいずれか) 係

お問合せ: 東京国立博物館 教育講座室 TEL: 03-3822-1111 (代表)

教えて！

なぜなに トーハク

— 其の4 —

連載第4回は、お客様からよく聞かれるギモン、この作品はどうやって作ったの？にお答えします！

こんにちは、ユリノキちゃんです。今日の謎は、夏休み恒例「親と子のギャラリー 日本美術のつくり方Ⅲ」から、こちら！

おはにちは！
ほく、トーハクくん！
このコーナー、
人気上昇中らしいほ！
うれしいほー！



トーハクくん

ユリノキちゃん



Q おしだしぶつ 押出仏ってどうやって作るの？

道具などを分析します。なるべく当時と同じように作っていくためです。
ここからいよいよ工程へ。成分を調査した銅を溶かして鑄造し、型となる原型を作ります。銅を塊から延ばして板にし、この型の上にあて、たたきながら形を写し取っていきます。細かく複雑なところは、たたく力や道具を変えます。時々熱を加えることにより、銅の板は柔らかく、加工しやすくなります。こうしてすみずみまで形を浮き上がらせ、輪郭に沿って切り取り、鍍金（金メッキ）や彩色をほどこして完成です。材料の準備から完成までには、とてもたくさん作業を必要としたんですね。

③鍍金したところ。
このあと彩色を加えて、完成



「親と子のギャラリー 日本美術のつくり方」シリーズ第三段。伝統的な日本美術の技法をとりあげ、制作工程見本と実物の作品とを並べながら、わかりやすく展示します。
ここでは押出仏を見ましよう。もともとあった作品は、飛鳥時代7世紀の仏像。まずは原品をくわしく調査し、材料や技法、



①銅の成分をしらべて調査し、塊から延ばして板を作る



②銅で作っておいた型の上に板をおき、たたいて形を写し取っていく

つくり方を知れば、
見方がわかる！見方がかわる！

おしだしぶつ……。たしか最近どっかで見たほ！



トーハクくん、法隆寺宝物館よ。忘れないでね！第2室で飛鳥時代から奈良時代の押出仏を展示しているの。薄い金属の仏さま、さてどうやって作ったのか、見てみましょう。

うほー！どんな道具を使うのかも気になるほ。

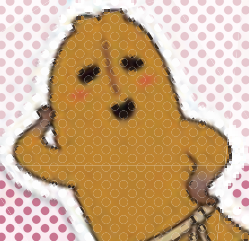


「日本美術のつくり方Ⅲ」の会場では、「象嵌」、「甲冑」、「螺鈿」の制作工程やその道具も見ることが出来るのよ！



それ二人宛てだったわよね！
お便り下さった
楓子さん、ありがとうございました。

またファンレター
もらえるといいほー！



ユリちゃんには
内緒にしていたけど
…この前、ファン
レターをもらって
しまったほ！



あれ？最近
トーハクくんなんか
いいことあった？



7月24日（火）～
9月2日（日）本館2階
特別2室に行くほー！
みんなもぜひきてほー！

平安時代から江戸時代までに用いられた刀剣や甲冑などの武具に加えて、武士の肖像画や書を展示します。



●群鳥文兵庫鎖太刀 鎌倉時代・13世紀

鎌倉時代を代表する外装で、同時代に製作された刀身も同時に展示します

4

茶の美術

日本の伝統文化である茶の湯のなかで育まれた美術を紹介します。



9/4 火

豆彩東蓮文水指

景徳鎮窯 清時代・雍正年間(1723～35) 広田松繁氏寄贈
中国清朝官窯の鉢を茶人広田不孤斎が水指に見立てました

11/25 日

瑠璃地染付蓮図水指

伊万里 江戸時代・17世紀
珍しい初期伊万里の水指。独特の温かな気分をたたえています



3

禅と水墨画

禅宗の本格的導入にともない成立した水墨画と墨跡をご覧ください。

3

宮廷の美術

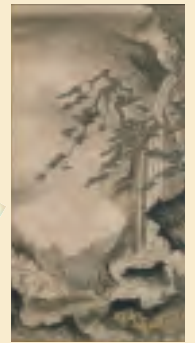
宮廷貴族社会を中心に育まれたやまと絵や書、調度品の世界。

8/28 火 10/8 月・祝



●破墨山水図

雪舟等楊筆 雪舟自序・月翁周鏡等六僧賛 室町時代・明応4年(1495)
晩年に弟子への餞別として描いた絵です。自伝的な文章も記されています



7/18 水 8/26 日

●李白観瀑図

惟肖得巖賛 室町時代・15世紀 個人蔵
廬山の瀑布を詩に詠む李白になったつもりで滝の轟音をお聞きください

8/28 火 10/8 月・祝



●筋切本古今和歌集 卷第四巻首
飛雲の散らされた美しい料紙に立秋の和歌が書写されています

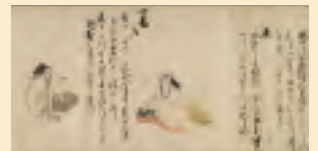
●紫式部日記絵巻

個人蔵 鎌倉時代・13世紀
濃彩なつくり絵による鎌倉時代やまと絵の優品です



7/18 水

8/26 日



●東北院職人歌合絵巻

職人達が和歌を競うもので、持明院統の花園院(1297～1348)周辺での制作が予想されています

8/28 火 10/8 月・祝

●法華経 方便品

(竹生島経) 平安時代・11世紀
優美な花鳥下絵が施された料紙と和様の穏やかな書の見どころです

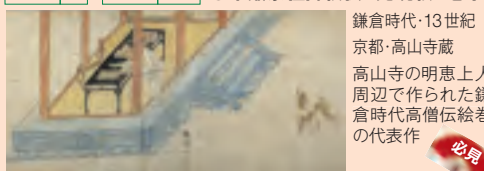


2

国宝室

絵画・書跡の名品をゆったりとした空間で心静かに鑑賞していただくための展示室です。

8/21 火 9/17 月・祝



●華嚴宗祖師絵伝 元曉絵 巻下

鎌倉時代・13世紀 京都・高山寺蔵
高山寺の明恵上人周辺で作られた鎌倉時代高僧伝絵巻の代表作

必見

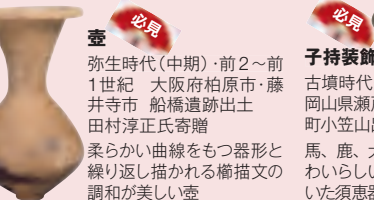
1

日本美術のあけぼの

— 縄文・弥生・古墳

日本美術の原点として縄文から古墳時代の代表作品を紹介します。

11/4 日 縄文土器や土偶、銅鐸や埴輪などから各時代の造形美の変遷を追います。



1

仏教の興隆

— 飛鳥・奈良

飛鳥時代から奈良時代にかけての仏像や経典など、古代の仏教美術を紹介します。

5/8 火

8/26 日

菩薩立像

飛鳥時代・7世紀
7世紀前半の木彫の稀少な作例です

7/18 水

8/26 日

百万塔陀羅尼

奈良時代・8世紀
称徳天皇が、平和への願いをこめて制作した年代の明らかな世界最古の版経です



8/28 火 10/8 月・祝

飛鳥時代の十一面観音立像や、奈良時代の装飾料紙をご紹介します。

色紙金光明 最勝王経断簡
奈良時代・8世紀 個人蔵
紫と藍の料紙を用いた数少ない奈良時代の色紙経としてきわめて貴重な遺品です



3

仏教の美術

— 平安～室町

4/24 火 8/26 日

●金銅八仏種子五結鈴

平安時代・12世紀
金剛界四仏、胎藏界四仏、あわせて八仏の種子と様々な文様を表した装飾性豊かな五結鈴

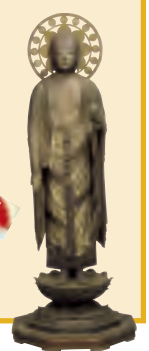


7/18 水 10/8 月・祝

お盆の時期に因み、地獄からの救済などに関連する作品を展示します。

●地藏菩薩立像

平安時代・12世紀 京都・浄瑠璃寺蔵
王朝貴族好みのおだやかな顔と袈裟の美麗な彩色が見どころです



7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

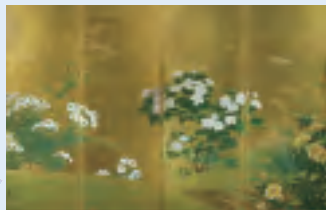
大画面の作品から生み出される空間の広がりを感じとってください。

9/4 火 — 10/14 日 秋の深まりを感じさせる作品を展示します。

◎秋草図屏風

依屋宗雪筆
江戸時代・17世紀
金地の野辺に萩や薄、女郎花、芙蓉など秋の草花が咲き乱れる

必見



7/24 火

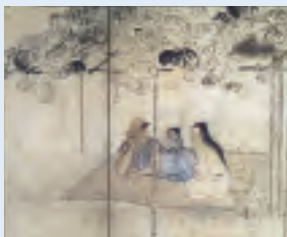
9/2 日

水辺に関わる清涼感のある情景を描いた作品を展示します。

◎納涼図屏風

久隅守景筆
江戸時代・17世紀
夕涼みをする三人の家族が、みな無言で月を眺めています

必見



5

6

武士の装い — 平安～江戸

7/24 火

10/14 日

◎色々糸威腹巻

室町時代・15世紀
茶色の糸を主体にして紅白の糸も用いた大菱華やかな甲冑です

必見

本館 ⑥ 室
武士の装い
— 平安～江戸

8 - 1

暮らしの調度 — 安土桃山・江戸

安土桃山から江戸時代に人々の身の回りを飾った調度や器を展示します。

6/26 火 — 9/23 日

季節に合わせて、夕顔や罌粟、水辺の意匠など夏に因んだ文様の作品をご覧ください。



蛇籠千鳥蒔絵硯箱

江戸時代・18世紀
広田松繁氏寄贈
流水と蛇籠をクローズアップした図案は、当時人気の光琳風

必見



夕顔蒔絵大鼓胴

江戸時代・17世紀
竹垣に扇面、夕顔の文様は、源氏物語「夕顔」帖の象徴です

必見

色絵罌粟文皿

鍋島 江戸時代・18世紀
中央をあえて余白とするのは、鍋島得意の構図法

8 - 2

書画の展開 — 安土桃山・江戸

さまざまな表現で広がる豊かな視覚文化の時代を体感してください。

7/24 火 — 9/2 日

水辺に関わるモチーフを描いた絵画を中心に展示します。

◎隆達節断簡

角倉素庵筆 江戸時代・慶長10年(1605)

下絵に書を調和させたこの時代独自の美的感覚

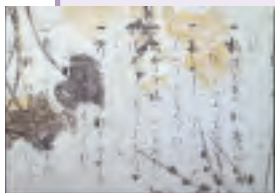
必見



蝦蟇図

林十江筆
江戸時代・19世紀
水戸の絵師、林十江の奔放で大胆な画風

必見



9/4 火 — 10/14 日

秋の風情を感じさせる絵画を展示します。



◎山中結廬図

浦上玉堂筆
江戸時代・寛政4年(1792)
日本の南画を代表する絵師、玉堂の48歳に描いた色鮮やかな山水画

必見

一行書

池大雅筆
江戸時代・18世紀
楠松嘉代子氏寄贈
書の世界でも一家をなした大雅作品を多数展示

必見



9

能と歌舞伎

室町時代～江戸時代に用いられた能面・能装束・歌舞伎衣装などを紹介します。

6/26 火 — 8/19 日

中世の喜劇・狂言の世界を面・装束のユーモラスな表現を通してご覧いただけます。



素襖 茶麻地傘模様

室町時代・16世紀
能とは対照的に、染めによる大胆な模様が狂言装束の魅力

必見

8/21 火 — 10/21 日

米沢藩上杉家伝来の名品を展示し、豪華絢爛な大名家の能文化を紹介いたします。



江戶時代・18世紀

王朝文化をイメージする典雅な色紙短冊模様はまさに能を象徴する唐織

必見

【衣装】小袖や髪飾り、印籠や根付など江戸時代のファッションに関する展示です。

6/26 火 — 8/19 日

夏の衣装やガラス製の髪飾りなど、江戸時代の涼しさの表現をご覧ください。



帷子 淡紅麻地幕藤文字模様

江戸時代・18世紀
和歌の文字を散らした優雅で涼しげなキモノは麻の単仕立

必見

8/21 火 — 10/21 日

日本人独特の美意識である秋草模様を中心にしたキモノの展示。



小袖 染分縷子地 鶯草花模様

江戸時代・18世紀
個人蔵
江戸時代中期に町方の女性に大流行した光琳模様

必見

10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】

江戸時代の美人や風景を描いた版画と肉筆の浮世絵を展示します。

7/10 火 — 8/5 日

丹絵や漆絵、紅摺絵。横大々判、細判、中判、間判など多彩な形式の版画作品を陳列。

◎青樓仁和嘉女藝者部・大万屋、萩江、おいよ、竹次

喜多川歌麿筆
江戸時代・天明3年(1783)
歌麿の3種類の「青樓仁和嘉」を2点ずつ陳列

必見



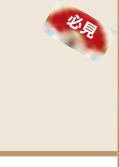
8/7 火 — 9/2 日

団扇絵版画と団扇を手にした美人を描いた肉筆画を陳列。
達勢風流姿・白井権八
歌川国芳筆
江戸時代・19世紀
目黒比翼塚で知られる美貌の権八。「お若えの、お待ちなせえやし」

9/4 火 — 9/30 日

有名浮世絵師それぞれの得意のテーマで競演。

◎立姿美人図

喜多川歌麿筆
江戸時代・18世紀 個人蔵
喜多川歌麿の肉筆美人図の代表作

必見

注目の特集

あゝ文豪がトパーズ総長だった！

東京国立博物館140周年特集陳列

「生誕150年」

帝室博物館総長 森鷗外

7月18日(水)～9月9日(日)

● 本館16室

今年は森鷗外(林太郎)の生誕150年に当たります。陸軍を退官し、作家として自適の生活を送っていた鷗外は大正六年(一九一七)、現在の東京国立博物館長に当たる帝室博物館総長兼図書頭に任命されました。新総長を待つ博物館は創設から五十年近くを経て、

明治から大正への社会の変化に応じた新しい姿を求められていました。鷗外は在任中、展示の改革、博物館における研究の振興と社会への公開など誠実にその職務を務めて、着実な成果をあげましたが、同十一年に在職のまま死去しました。この特集では、日本を代表する文豪の、知られることの少ない

鷗外遺稿博物館書目解題

大正7～11年(1918～22)写
鷗外による館蔵品の調査成果

博物館長としての一面を、資料を通じて明らかにします。(田良島哲)

必見！

迦陵頻伽がこんなに身近に

東京国立博物館140周年特集陳列

「運慶周辺と康円の仏像」

7月31日(火)～9月17日(月・祝)

● 本館14室

康円って誰？と思われる方も多いでしょう。運慶の孫です。運慶の嫡男湛慶の没後(一二五六年)、慶派仏師(名前に慶の字を付けることの多い一派)を主導する立場になりました。今回、康円作の像三件を展示します。中でも代表作として有名なのが文殊菩薩および侍者像。通常は、獅子に乗る文殊と四人の侍者を群像として展示するため、一体ずつの細かな部分が見えませんが、今回は間近で観察

できるように獅子、迦陵頻伽の舞う光背も含めケース内に展示します。運慶作の可能性が高い大日如来坐像二軀の展示は恒例となりましたが、今回は真如苑所蔵の像を四方から見られるように中央のケースに展示します。側面、背面の姿をじっくりご覧ください。運慶と康円の作品を比較して二人の生きた時代に思いを馳せてください。

(浅見龍介)



◎大日如来坐像

平安～鎌倉時代・12世紀
東京・真如苑蔵
耳の形、額の肉付き、背筋の盛り上がりなど側面だけでもみどころはたくさん

◎迦陵頻伽(文殊菩薩像光背部分)

康円作 鎌倉時代・文永10年(1273)
普段は文殊菩薩像に隠れて見えません。お見逃しなく

旧本館の設計図と竣工写真

東京国立博物館140周年特集陳列

「ジョサイア・コンドルの博物館」

8月7日(火)～9月23日(日)

● 平成館 企画展示室

明治十年(一八七七)に政府の建築教師として来日した英国人ジョサイア・コンドルは、ただちに上野に新設される博物館本館の設計と施工に日本人の弟子たちと携わるようになりました。

明治十四年に竣工した上野博物館本館は日本における建築家としてのコンドルの長い活動の初期を代表する大作でした。大正十二年(一九二三)の関東大震災で被災し、惜しまれながらも取り壊されました。

当館には幸いにも設計及び施工時の図面が一括して伝来しており、往時の姿をしのぶことができます。

創立140周年に当たり、これらの図面の一部と工事および竣工後の写真を紹介します。

(田良島哲)

上野博物館立面(正面)

J.コンドル 明治時代・19世紀
建築家自身による設計図面

気になる この部屋・ この作品

本館 2 室 国宝室

奇跡の経典、龍宮より来たる

国宝

華嚴宗祖師絵伝 元曉絵巻下

8月21日(火)～9月17日(月・祝)



●華嚴宗祖師絵伝
元曉絵巻下

鎌倉時代・13世紀
京都・高山寺蔵
元曉・金剛三昧經を
講讀する(一部)

古代朝鮮半島にあった新羅国の華嚴僧・元曉の事績を描いた高僧伝絵巻です。王妃の病を治すため、龍宮からもたらされた金剛三昧經。国中の誰もが理解できなかった難解な経典を元曉が読み解き、その徳により王妃の病を癒やしたという物語が描かれています。

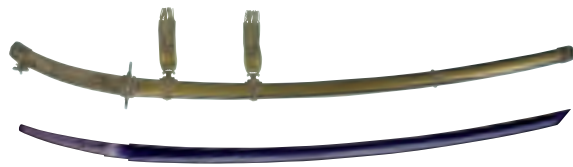
軽やかな筆線と明るい色調、画中詞によるストーリー展開など、鎌倉時代前期を代表する絵巻の一つです。同じく新羅の高僧を描いた義湘絵とともに、鎌倉時代に高山寺を再興した明恵周辺で制作されたと考えられています。(土屋貴裕)

本館 5 6 室 武士の装い

華やかな外装と刀身のセット

群鳥文兵庫鎖太刀

7月24日(火)～10月14日(日)



●群鳥文兵庫鎖太刀

鎌倉時代・13世紀
中世の外装とその刀身が現存する例は極めて稀です

兵庫鎖太刀は、帯取と呼ばれる太刀を腰に下げたための部分に兵具用の鎖を用

いた拵(刀身の外装)のことです。これは上杉家から三島大社へ奉納されたと伝えるため「上杉太刀」の号があります。鞘は高蒔絵の技法で、金具は高肉彫によって鳥の文様を随所にあらわし、華やかなだけでなく、モチーフが巧みに構成されていることで統一感も兼ね備えています。中身の太刀は拵と同時に製作されたと思われ、銘などから備前国で栄えた一文字派の作と知られています。(酒井元樹)

本館 7 室 屏風と襖絵

月明かりの下の家族団らん

納涼図屏風

7月24日(火)～9月2日(日)

残暑のなか、竹で組まれた棚には瓢箪の実が下がり、筵を敷いて三人の家族が涼んでいます。みな無言で白い満月を静かにみつめています。砂利が細かく描かれていて、近くに小川があるのか、一筋の涼風を感じさせます。仕事を終えた家族のひとときが静かに流れていきます。

守景の子たちも絵師でしたが、息子は不行跡がたり佐渡に流され、娘も父のもとを離れたようです。この絵をみていると、父に寄り添う二人の子への守景の思いが込められているように思えてなりません。(松嶋雅人)



●納涼図屏風

久隅守景筆 江戸時代・17世紀
守景の卓抜した画技の高さが親子の物語を紡ぎ出す

本館 10 室 浮世絵と衣装

元禄の最先端ファッション

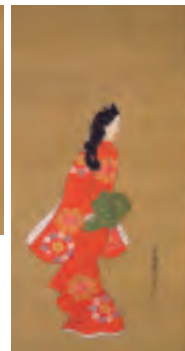
見返り美人図

9月4日(火)～9月30日(日)



見返り美人図

菱川師宣筆 江戸時代・17世紀
小袖の文様は金泥も用いて豪華絢爛



浮世絵を確立したといわれる菱川師宣晩年の傑作です。横顔しか見えないはずの彼女が美人と称される所以は、そのファッションセンス。菊と桜を刺繍した華やかな元禄袖、人気の歌舞伎役者・上村吉弥にちなんだ帯結び。垂れ髪の手をクルンとまわして玉を結い、小ぶりの挿櫛と透かし彫りの簪をさり気なく飾った髪。観る者に大胆に背を向けることで、流行のファッションを効果的に見せた姿は、まさに元禄期の最先端。鮮やかな彩とともに是非皆さまの眼でご鑑賞ください。(金井裕子)

本館 19 室 近代工芸

人間国宝の色のマジック

耀彩鉢

7月18日(水)～9月17日(月・祝)



耀彩鉢

3代徳田八十吉作 昭和59年(1984)
青と緑の釉が作りだすグラデーションが美しい

三代徳田八十吉(一九三三～二〇〇九)は石川県小松市に生まれ、祖父・初代八十吉から九谷焼上絵釉薬を、父(二代)から現代陶芸の創作性を学び、伝統と現代的な感性を融合させた作品づくりに取り組みました。色彩の濃淡の微妙な変化を追求した表現は、彩釉磁器の新境地を切り開いた三代独自の表現であり、数十種類の釉薬を組み合わせ、高温焼成を繰り返すなかでつくられました。平成九年(一九九七)、国の重要無形文化財「彩釉磁器」保持者認定。(横山梓)

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講座・講演会・解説

講演会

東京国立博物館 140 周年月例講演会

日本美術応援団、東京国立博物館を応援する

知られざるトーハクの魅力について語る公開対談。展示作品についてはもちろん、トーハクで撮ったヘンな写真も存分にお見せする予定です。

日時：8月4日(土)13:30～15:00

講師：赤瀬川原平(作家)、南伸坊(イラストレーター、エッセイスト)、山下裕二(明治学院大学教授)

*平成館大講堂前にて9:40より整理券を配布します。

*整理券はお1人様1枚です。

東京国立博物館 140 周年月例講演会

『盲学校のためのスクールプログラム』から始める博物館のアクセシビリティ みんなが楽しむ博物館のための第一歩

盲学校対応を始めてみえた、博物館を楽しむための工夫についてお話しします。

日時：9月1日(土)13:30～15:00

講師：半田こづえ(筑波大学大学院)、鈴木みどり(ボランティア室長)

*会場は開始の30分前。いずれも会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし当日の入館料は必要)

列品解説

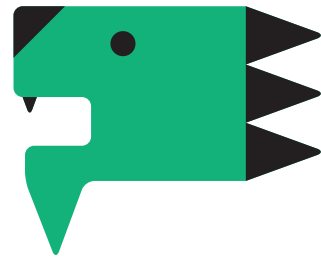
密教法具の輝き

日時：8月7日(火)14:00～14:30 本館13室

講師：伊藤信二(教育普及室長)

密教では、儀式の進行やその道場を飾る、独特の仏具が使用されます。密教法具の魅力的な造形と輝きをお楽しみください。

私もトーハク応援団♪
一緒に魅力を語りたいわ



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース

EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

国宝 華嚴宗祖師絵伝 元曉絵

日時：8月24日(金)18:30～19:00 本館20室

講師：土屋貴裕(絵画・彫刻室研究員)

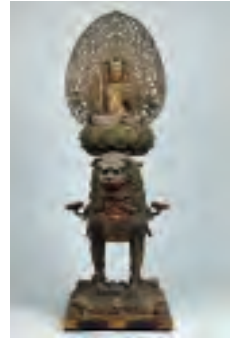
新羅の高僧元曉の奇跡の物語。その魅力をご紹介します。(展示に関する詳細は11ページ参照)

鎌倉彫刻の彩色

日時：9月4日(火)14:00～14:30 本館20室

講師：丸山士郎(教育講座室長)

康円作品を中心に、仏像の彩色についてお話しします。(展示に関する詳細は10ページ参照)



◎文殊菩薩騎獅像

康円作

鎌倉時代・文永10年(1273)

*9月21日(金)秋の特別公開関連列品解説については2～3ページ参照

ART
2

大人も子どもも楽しめる

展示&ツアー

親と子のギャラリー

つくり方を知れば、見方がわかる! 見方がかわる!

『日本美術のつくり方Ⅲ』

7月24日(火)～9月2日(日)

本館2階 特別2室

この作品、いったいどうやってつくったんだろう?

材料は何でできているの? 夏休み恒例の

「親と子のギャラリー」シリーズ。今年は『日本美術のつくり方Ⅲ』と題し、伝統的な日本美術

の技法4つについて、制作の順を追った工程の

見本と実物の作品とをならべながら、わかりやすく紹介します。とりあげる

のは、「押出仏」、「螺鈿」、「甲冑」、「象嵌」とよばれるもののつくり方です。

子どもから大人まで楽しんでいただける展示です。

(11ページ「教えて!なぜなにトーハク」では「押出仏」の詳細を紹介)



紫裾濃威筋兜
江戸時代・18世紀



ぼくはみんなと
お友達だから、いつも
おしゃべりしてるほ



どんなお話をしてく
れるのかしら?

事前申込制

[電子メール、ウェブサイトフォーム]

子どもツアー&ファミリーツアー

「トーハク劇場へようこそ!」

トーハクには、古い歴史をもったものがたくさん! 展示室にある土器や仏像、むかしの絵...それぞれの作品が、語りかけてくるツアーです。劇場にお芝居を観に行くような、わくわくした気分楽しんでください。

ファミリーツアー(対象:小学1～3年生とそのご家族)

A:8月25日(土)、B:8月26日(日)、C:9月29日(土)、D:9月30日(日)

いずれも10:00～11:00

子どもツアー(対象:小学4～6年生の子ども)

E:8月25日(土)、F:8月26日(日)、

G:9月29日(土)、H:9月30日(日)

いずれも13:00～14:00

参加費:無料(大人は当日の入館料が必要です)

*子どもツアー(E～H)は対象年齢内であれば、

きょうだい、お友だち同士で3人まで一緒に応募することが可能です。

定員:ファミリーツアー(A～D)は各回10組、子どもツアー(E～H)は各回20名(応募者多数の場合は抽選)

*子どもツアー(E～H)は子どもたちだけを対象にしたプログラムです。保護者の方の見学をご遠慮いただく場合がございます。

申込方法:電子メールで①参加者全員の氏名(ふりがな)と子どもの場合は学年、②郵便番号・住所、③電話番号、④希望の回(A～Hのいずれか)を記入の上、下記申込先へお送りください。当館ウェブサイト上の申込フォームからお申し込みいただけます。

申込先:教育普及室「トーハク劇場へようこそ!」係 電子

メール edu@tnm.jp (件名に「〇月〇日ファミリーツ

アーもしくは子どもツアー」とご記入ください)

申込締切:A・B・E・Fは8月9日(木)必着、

C・D・G・Hは9月13日(木)必着

関連プログラム

ギャラリートーク「日本美術のつくり方Ⅲ」

4つの技法紹介

日時:8月2日(木)14:00～、10日(金)19:00～、
21日(火)14:00～

講師:伊藤信二(教育普及室長)

押出仏のつくり方

日時:8月31日(金)19:00～

講師:瀬田愛子(押出仏制作工程模型作者)

会場:本館特別2室 *各回30分程度 *直接会場にお越しください。

*「東京芸術大学学生ボランティアによるワークショップ」と「こどもたちのアートスタジオ」は1回の申込で最大2名様までお申し込みいただけます。複数名でご参加の場合、参加の可否のお知らせをお届けするため、必ず参加者全ての方のご住所をご記入ください。

*事前申込制のプログラムにお申し込みいただいた方へは、当落に関わらずご連絡いたします。

実施日の3日前までに、受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので各申込先にお電話でお問い合わせください。電話03-3822-1111(代表)

*各種催し物のご応募の際ご提供いただいた個人情報、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

こどもたちのアートスタジオ

「おとなの根付作り」

子どもたちに人気のワークショップを、大人の方(高校生以上)向けにしたプログラムです。江戸時代のおしゃれアイテムであった根付の制作にチャレンジしていただきます。本館2階で展示されている高円宮コレクションの現代根付を中心に観賞した後、個性豊かな根付を粘土で作ってみましょう。

日程：9月2日(日)

時間：13:30～15:30(120分)

会場：平成館 小講堂

対象：一般(高校生以上)

定員：15名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし当日の入館料が必要)

申込方法：往復はがき、または当館ウェブサイトの申込フォームで①参加者全員の氏名(ふりがな)、②郵便番号・住所、③電話番号(FAX番号)を記入の上、下記申込先へお送りください。

*12ページ欄外注意事項もご覧ください。

申込締切：8月13日(月)必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室 「9月2日根付作り」係



根付を観賞する高円宮コレクション室

制作工程模型展示

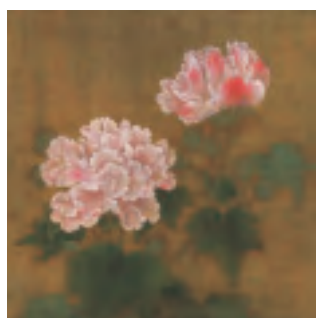
国宝「紅白芙蓉図」ができるまで —東洋絵画の絵具の秘密—

東洋絵画では古代から現代に至るまで、鉱物・植物・動物・昆虫など、自然界にある様々な材料を加工して使ってきました。それらの材料の特色を巧みに活かした描き方の一例を、中国の南宋時代・慶元3年(1197)に宮廷画家の李迪によって描かれた国宝「紅白芙蓉図」の制作工程模型でご紹介します。制作の順を追って忠実に再現したこの模型を通して、作品が仕上っていく様子をご覧ください。

(東京芸術大学大学院美術研究科

文化財保存学専攻博士課程

保存修復日本画研究室 石井恭子)



●紅白芙蓉図
李迪筆 南宋時代・慶元3年(1197)
*期間中、原本の展示はありません

東京芸術大学学生ボランティアによるギャラリートーク

「国宝 紅白芙蓉図ができるまで—東洋絵画の絵具の秘密—」

模型を利用して国宝「紅白芙蓉図」が完成するまでのプロセスをわかりやすく解説するとともに、工程模型作者だからこそ知り得た知見を通して作品の魅力にアプローチします。

日時：8月8日(水)、9月26日(水) 15:30～15:50

場所：本館20室 集合場所：本館1階エントランス

東京芸術大学学生ボランティアによるワークショップ

「国宝 紅白芙蓉図ができるまで—東洋絵画の絵具の秘密—」

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

制作工程模型で実際に使用した絵具に触れ、解説者が実際に絵具を溶く様子を見学していただいた後、本館20室にある制作工程模型を使って絵具の秘密を解説します。鉱物を原料とする絵具は、粒子の大きさによって色の濃さが変わります。見た目は同じような粉状でも実際に手で触ると色によって手触りが全く異なることがわかります。動植物を原料にした染料の絵具は、見た目も様々。絵具に触れることによって、新たな視点から作品に興味をもていただければ幸いです。

日程：9月9日(日)

時間：13:30～14:30(60分)

解説者：石井恭子(制作工程模型作者)

会場：平成館 小講堂

対象：一般(高校生以上)

定員：30名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし当日の入館料が必要)

申込方法：往復はがき、または当館ウェブサイトの申込フォームに①参加者全員の氏名(ふりがな)、②郵便番号・住所、③電話番号(FAX番号)を記入の上、下記申込先へお送りください。

*12ページ欄外注意事項もご覧ください。

申込締切：8月20日(月)必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室

「9月9日芸大ボランティア

ワークショップ」係



芙蓉の花の部分に塗る顔料を溶いたもの



顔料と染料で彩色をしたもの

1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報

12

被災文化財の処置は これからが本番

昨年の三月十一日の津波の被害を受け、陸前高田市立博物館、海と貝のミュージアム、埋蔵文化財収蔵庫から救出された資料は、現在陸前高田市内の小学校に搬入され保管中です。その数は、収蔵品総数三十六万点の内の半数以上と考えられています。資料は総て海水とヘドロを被っているため、乾燥させただけでは将来的な安全性が保証できません。まずは安定化を図るため、真水を用いた脱塩と洗浄作業を行って乾燥させる必要があります。この作業を安定化処理と言います。作業は現地の職員が中心となり、NPO法人文化財保存支援機構や女子美術大学刺繍研究室の協力を得て延々と続いています。ですが、あと数年は掛かる見込みです。安定化処理を終えた資料から本格修理が順次開始されます。皆さまからのご支援、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



陸前高田市立米崎中での安定化処理(現地職員)



奥州市埋文センターでの安定化処理(東博NPO共同作業)

神庭信幸
(保存修復課長)



イベント開催のお知らせ

東京国立博物館 秋のコンサート

～珠玉の音色のザラフィアンツと世界のポリショイ劇場のバリトン～

日時：9月30日(日) 開場14:00 開演14:30

会場：平成館ラウンジ

出演：エフゲニー・ザラフィアンツ(ピアノ)、ミハイル・ディヤコフ(バリトン)

曲目：[第1部] ミハイル・ディヤコフ 【バリトン】

ルビンシュテイン：「デーモン」 デーモンの3つのロマンスより

ラフマニノフ：「アレコ」アレコのカヴァチーナ

ヴェルディ：リゴレット

ジョルダーノ：アンドレア・シェニエ ほか

[第2部] エフゲニー・ザラフィアンツ 【ピアノ】

ショパン：ピアノソナタ2番(葬送付)

ショパン：ノクターン13番

料金：5,000円 友の会割引 4,000円 全席自由

*当日は、コンサートチケットで、総合文化展をご観覧いただけます。

主催：東京国立博物館 サロン・ド・ソネット

チケットのお求め方法

○当館正門チケット売場での販売

受付時間：開館日の9:30～閉館の30分前まで(月曜休館 ただし8/13、9/17は開館、9/18は閉館)

○電話予約販売

申込先：東京国立博物館 総務課イベント担当 TEL:03-3821-9270

受付時間：月曜日～金曜日 9:30～17:00(土日・祝休日は除く)

引換方法：公演当日、9:30～当館正門チケット売場にて現金引換えにてお渡しします。

*各イベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。

*お車でのご来館はご注意ください

9月17日(月・祝)は総合文化展無料!

9月第3月曜日の敬老の日は、総合文化展が無料でご覧いただけます。

10月6日(土)は留学生の日です

日本の学校に所属する留学生、ALT(外国語指導助手)および、その同行者は総合文化展が無料となります。留学生のためのガイダンスや、ボランティアによる各種ガイドツアー・お茶会(有料・当日申込制)など、さまざまなイベントも実施されます。お問い合わせのうえ、ぜひご来館ください。

花見で一句入選発表

「博物館でお花見を(3月20日～4月15日)開連企画「花見で一句」にて、「トーハク」で桜を詠もう」をテーマに俳句を募集しました。期間中、館内投句箱にて受付けたところ、昨年の百六十一句を大きく上回る二百九十三句の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。中には「応挙館」や「九条館」といった固有名詞を織り込んだトーハクならではの句もございました。ご投句いただきました沢山の作品の中から、ここに館長賞一名、副館長賞二名、桜賞三名を発表いたします。受賞者の皆様には記念品を送らせていただきました。

●館長賞

百歳を生きて今年の桜かな 三木谷美和

●副館長賞

花咲かす古木に苔のやはらかき 後藤弓寿

伎楽面桜並木を踊りし日 増田緑

●桜賞

花びらの心に落つる午後三時 高坂虚路

鍋島の白磁に花を閉じ込めて 高橋美代子

佇ちつくす花ふぶきするただ中に 鳥井月清



特別展 「中国 王朝の至宝」ご招待券プレゼント

本誌4ページで紹介した特別展「中国 王朝の至宝」(10月10日<水>～12月24日<月・休>)のご招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は9月21日(金)必着。

◎プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番面白かった企画、なぜならトーハク(本誌7ページ)で聞きたいことをご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース8・9月号」プレゼント係



東京国立博物館賛助会員募集のご案内

*賛助会員のお申込は随時受け付けております。

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。
賛助会員には、特別会員と維持会員の2種類があります。

◎年会費

特別会員 100万円以上

維持会員 法人 20万円 / 個人 5万円

◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2012年6月26日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
株式会社 精養軒 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様

維持会員団体

TBS 様
株式会社 三冷社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
日本通運株式会社 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術数本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットインスティテュート 様

維持会員個人

木村 則子 様
高木 聖鶴 様
早乙女 節子 様
伊藤 信彦 様
井上 萬里子 様
数内 匡人 様
服部 禮次郎 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
中川 俊光 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保 のり子 様
堀田 良豊 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
星 望 尚 様
久保 順子 様
渡辺 章 様
福垣 哲行 様

永田 実香 様
西岡 康宏 様
友景 紀子 様
東野 治之 様
辻 泰二 様
竹下 佳宏 様
野澤 智子 様
野崎 弘 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
脇 素一郎 様
木谷 顯巳郎 様
高梨 兵左衛門 様
渡久地 ツル子 様
夕崎 浩正 様
堤 勝代 様
平井 千恵子 様
高谷 光宏 様
青山 道夫 様
高橋 静雄 様
田中 千秋 様
小西 晴也 様
澁谷 洋志 様
清川 勉 様
ozawayuko 様
仙石 哲朗 様
中井 伸行 様
田中 望 様

三井 遠雄 様
坂詰 貴司 様
吉田 靖雄 様
松本 雅彦 様
篠田 喜弘 様
片山 正紀 様
伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様
大森 雅子 様
折越 卓哉 様
細川 要子 様
錦織 伸一 様
鈴木 幸一 様
秋元 文子 様
土師 詔三 様
上塚 建次 様
鏡 賢志 様
山田 輝明 様
高山 真佐子 様
平山 利恵 様
井出 雪絵 様
佐藤 禎一 様
岡本 博司 様
岡本 恭子 様
田中 榮二 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原一之 様

加藤 康幸 様
安田 格 様
原田 清朗 様
筑紫 みづえ 様
鳥山 玲 様
山形 哲也 様
尾崎 昌雄 様
山本 雅司 様
倉片 康雄 様
栗山 哲夫 様
安達 務 様
山根 宗芳 様
梅本 聖 様
櫻本 孝志 様
田頭 一舟 様
岡田 良雄 様
阿部 和加子 様
井茂 圭河 様
高味 良信 様
廣田 穠 様
能谷 誠治 様
杉山 恭規 様
山田 浩一 様
秋元 あかね 様
笹森 美子 様
高橋 明子 様
村井 明美 様
久保田 哲暁 様

小塚 泰博 様
星 八郎 様
星 弘道 様
熊谷 潤子 様
佐野 豊進 様
田中 節山 様
高木 聖雨 様
久保 和樹 様
山中 翠谷 様
荒木 章 様
福岡 稔 様
関口 大志 様
中山 文子 様
山口 登 様
柳村 衛 様
橋澤 剛志 様
小日向 志乃 様
ほか66名3社、順不同

TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

◎VR作品「江戸城一本丸御殿と天守」
7月6日(金)～9月30日(日)の金・土・日・祝日



「旧江戸城写真帖」(蜷川式胤編、横山松三郎撮影、高橋由一着色 明治4年(1871))より「中之門・重箱櫓(第三十一図)」

VR作品「江戸城一本丸御殿と天守」より【監修】東京国立博物館【制作】凸版印刷株式会社

およそ265年間にわたり徳川15代の征夷大將軍の居城であり江戸幕府の中心であった江戸城。豪華絢爛な本丸御殿、明暦の大火で焼失した寛永の天守など、現存しない江戸城を、残された図面とバーチャルリアリティ技術によって再現。臨場感ある映像でご覧いただけます。あわせて、当館の所蔵品で明治4年(1871)に撮影された『旧江戸城写真帖』により、明治時代の江戸城の姿と現在の風景とを対比してご紹介。時代を超えて蘇った江戸城へのバーチャルトリップをお楽しみください。

●10:00, 11:00, 12:00, 14:00, 15:00, 16:00上演 各回30名

*当日予約制 上演開始10分前までに本館1階エントランスにて受付

スタンプラリー記念品ができました!

140周年パンフレットのスタンプラリーの記念品ができました。「松林図屏風」をデザインしたメモ帳と、トーハクくんかユリノキちゃんのチャーム付ボールペンのセットです。毎月変わるスタンプを6つ集めた方に差し上げます(先着3,000名様)。是非ご参加ください。

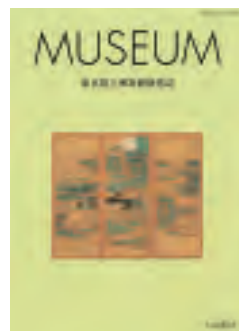


上野公園リニューアル&カフェオープン

東京国立博物館の正門前の恩賜上野公園竹の台地区が、今年の春に大規模改修工事を終えて新しくなりました。噴水の周りにはウッドデッキも新設され、たくさんの人々がくつろいでいます。園内には、スターバックス 上野恩賜公園店(8:00～21:00、不定休)と上野の森PARK SIDE CAFE(平日10:00～21:00、土日祝9:00～21:00)がオープン。両店ともテラス席があり、開放感のある中で喫茶やお食事を楽しめます。



『MUSEUM』638号(2012年6月15日発行)の掲載論文



- ①「中国墓葬における人面・獣面鎮墓獣と鎮墓武士俑の成立」
吉村 哲子
- ②「神護寺山水屏風の秋—七夕と網代—」
泉 万里
- ③「江戸初期鷺鳥図における「鷹と鶴」についての考察—塩鶴屏風をてがかりに—」
小野真由美(当館出版企画室)

価格:1500円

お問合せ:当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版(電話03-3535-1321)

国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

特別展「古事記1300年 出雲大社大遷宮 大出雲展」
7月28日(土)～9月9日(日)

〈奈良国立博物館〉

特別展「頼朝と重源 一東大寺再興を支えた鎌倉と奈良の絆」
7月21日(土)～9月17日(月・祝)

〈九州国立博物館〉

特別展「美のワンダーランド 十五人の京絵師」
7月10日(火)～9月2日(日)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会

年会費 1万円
発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート

一般4,000円 学生2,500円
発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

*建物の改修等のため、京都国立博物館の平常展示館、東京国立博物館東洋館・表慶館・黒田記念館など一部展示館を閉鎖しています。

◎お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ウェブサイト

【郵便振替でのお申込】

- 振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書で記入ください
- 振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください
- 振替手数料はお客様の負担となります
- ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号 00160-6-406616

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート
口座番号 00140-1-668060
●振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◎お申込は郵便振替で

- 加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース
口座番号 00100-2-388101
- 振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書で記入ください
- 振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください
- 振替手数料はお客様のご負担となります
- 次号より送付ご希望の場合、締切は2012年9月10日まで

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブサイト更新などの情報をいち早くお届けします

●ご登録は<http://www.tnm.jp/>から

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30～17:00
2012年3月～12月の特別展開催期間中の毎週金曜日は20:00まで開館
2012年9月21日(金)は22:00まで特別夜間開館
2012年10月20日(土)は21:00まで開館
2012年3月20日～9月の土日祝日は18:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)
休館日 原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(2012年12月25日～2013年1月1日)。

総合文化展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください
- 満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の総合文化展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください
- 9月17日(月・祝)は総合文化展無料

*各種イベント等のお申込に際してご提供いただいた個人情報、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

2012・8

東京国立博物館 2012年8月・9月の展示・催し物

2012・9

1 水	浮 14:00	「青山杉雨の眼と書」展 親子のギャラリー 中国山水画の20世紀展
2 木	ギャラリートーク「日本美術のつくり方Ⅲ」14:00 本館特別2室*1	
3 金	夜間開館 (20:00まで) ギャラリートーク「社会・生活への“挑戦”」18:30(詳細5ページ参照) 法 15:00	
4 土	時間延長 (18:00まで) 月「日本美術応援団、東京国立博物館を応援する」13:30 平成館大講堂 本 14:00 法 15:00	
5 日	時間延長 (18:00まで) 記念講演会「対談 中国画の現代変革」13:30(詳細5ページ参照) 作「根付作り」13:30 平成館小講堂*2 浮 14:00 考 14:30	
6 月	休館日	
7 火	列品解説「密教法具の輝き」14:00 本館13室*1	
8 水	芸大トーク「国宝 紅白芙蓉図ができるまで」15:30 本館20室*3	
9 木	本 14:00	
10 金	夜間開館 (20:00まで) ギャラリートーク「日本美術のつくり方Ⅲ」19:00 本館特別2室*1 ギャラリートーク「西洋画法への“挑戦”」18:30(詳細5ページ参照) 英 14:00 考 14:30	
11 土	時間延長 (18:00まで) 記念講演会「青山杉雨コレクション」13:30 平成館大講堂*4 陶 14:30	
12 日	時間延長 (18:00まで)	
13 月		
14 火		
15 水		
16 木	彫 15:00	
17 金	夜間開館 (20:00まで) ギャラリートーク「伝統への“挑戦”」18:30(詳細5ページ参照) 法 15:00	
18 土	時間延長 (18:00まで) 本 12:00, 14:00 法 15:00	
19 日	時間延長 (18:00まで) 英 12:00 浮 14:00	
20 月	休館日	
21 火	ギャラリートーク「日本美術のつくり方Ⅲ」14:00 本館特別2室*1	
22 水		
23 木	本 14:00	
24 金	夜間開館 (20:00まで) 連続講座「東洋美術をめぐる旅」13:00 平成館大講堂*5 列品解説「国宝 華嚴宗祖師絵伝 元暁絵」18:30 本館20室*1 考 14:30	
25 土	時間延長 (18:00まで) 連続講座「東洋美術をめぐる旅」13:00 平成館大講堂*5 ファミリーツアー 10:00*6 子どもツアー 13:00*6 陶 14:30	
26 日	時間延長 (18:00まで) 連続講座「東洋美術をめぐる旅」13:00 平成館大講堂*5 ファミリーツアー 10:00*6 子どもツアー 13:00*6 彫 11:00 浮 14:00	
27 月	休館日	
28 火		
29 水		
30 木		
31 金	夜間開館 (20:00まで) ギャラリートーク「日本美術のつくり方Ⅲ」19:00 本館特別2室*1	

1 土	時間延長 (18:00まで) 月「みんなが楽しむ博物館の第一歩」13:30 平成館大講堂 建 11:00 樹 13:30 本 14:00 法 15:00	
2 日	時間延長 (18:00まで) 作「おとなの根付作り」13:30 庭 14:00 考 14:30	
3 月	休館日	
4 火	列品解説「鎌倉彫刻の彩色」14:00 本館20室*1 庭 13:00	
5 水		
6 木		
7 金	夜間開館 (20:00まで) 法 15:00	
8 土	時間延長 (18:00まで) 庭 14:00 陶 14:30	
9 日	時間延長 (18:00まで) 芸大ワークショップ「国宝 紅白芙蓉図ができるまで」13:30 平成館小講堂*7 茶 12:30, 14:00	
10 月	休館日	
11 火		
12 水	樹 13:30 浮 14:00	
13 木	庭 14:00 本 14:00	
14 金	英 14:00 考 14:30	
15 土	時間延長 (18:00まで) プレオープンツアー「東洋館をめぐる旅」11:00, 14:00 東洋館*8 秋の特別公開 建(手話通訳付) 11:00 本 12:00, 14:00(手話通訳付) 樹 13:30 法 15:00	
16 日	時間延長 (18:00まで) 英 12:00 浮 14:00	
17 月・祝	時間延長 (18:00まで) 総合文化展無料観覧日	
18 火	休館日	
19 水	プレオープンツアー「東洋館をめぐる旅」11:00, 14:00 東洋館*8	
20 木	本 14:00 彫 15:00	
21 金	特別夜間開館 (22:00まで) 列品解説「贈られた名品」11:00, 18:30 本館特別1室*1、列品解説「たぐひの写眞の帝室技芸員・小川一真」14:00 本館20室*1、列品解説「広田不孤斎の茶道具について」16:00 本館4室*1 英 14:00 法 15:00	
22 土・祝	時間延長 (18:00まで) 陶 14:30	
23 日	時間延長 (18:00まで) 彫 11:00 浮 14:00	
24 月	休館日	
25 火	建 13:00	
26 水	芸大トーク「国宝 紅白芙蓉図ができるまで」15:30 本館20室*3 樹 13:30	
27 木	本 14:00	
28 金	考 14:30	
29 土	時間延長 (18:00まで) ファミリーツアー 10:00*6 子どもツアー 13:00*6 本 14:00	
30 日	時間延長 (18:00まで) ファミリーツアー 10:00*6 子どもツアー 13:00*6 ♪東京国立博物館 秋のコンサート 14:30 平成館ラウンジ*9 浮 14:00	

*1:詳細は本誌12ページ *2:事前申込制。詳細は前号13ページ *3:芸大ギャラリートーク。詳細は本誌13ページ
*4:事前申込制。詳細は前号2ページ *5:事前申込制。詳細は前号5ページ *6:事前申込制。詳細は本誌12ページ
*7:事前申込制。詳細は本誌13ページ *8:事前申込制。詳細は本誌6ページ *9:詳細は本誌14ページ

本＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館1階エントランス
浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所：本館1階エントランス
陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所：本館1階エントランス
彫＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館1階エントランス
樹＝ボランティアによる樹木ツアー(8月は休止します)、集合場所：本館1階エントランス
考＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：平成館考古展示室入口
法＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所：法隆寺宝物館1階エントランス
茶＝ボランティアによる広孝館での茶会、集合場所：本館1階エントランス(8月は休止します、参加費500円、先着30名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー 集合場所：本館1階エントランス(8月は休止します、先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布)

英＝ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所：本館1階エントランス
建＝ボランティアによるたぐひの散歩ツアー(8月は休止します)、集合場所：本館1階エントランス
作＝ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ(事前申込制。8/5分は申込は締め切りました。9/2分の詳細は本誌13ページをご覧ください。)
9/1(土)～9/30(日)の色文字表記の回は通常の内容に「秋の特別公開」(詳細は本誌2、3ページ)に関連した解説を含みます
屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。
月＝月例講演会、詳細は本誌12ページをご覧ください
＝ミュージアムシアター「江戸城一本丸御殿と天守」(7/6～9/30)、上映 10:00 11:00 12:00 14:00 15:00 16:00 各回30名、集合場所：本館1階エントランス 詳細は当館ウェブサイトでご確認ください)